

宇和島市教育委員会会議録

令和2年9月定例会

令和2年9月25日開催

宇和島市教育委員会

宇和島市教育委員会 令和2年9月定例会 会議録

1. 開会日時 令和2年9月25日（金）16時00分～

2. 場 所 宇和島市役所本庁 701 会議室

3. 出席者 教育長 金瀬 聡 委 員 高山 俊治 委 員 木下 充卓
委 員 弓削 由美子 委 員 浅井 敬司 委 員 田村 裕子

4. 欠席者 なし

5. 会議に出席した公務員の職氏名

教育部長	片山 治彦	教育総務課長	西川 啓之
学校教育課長	西田 一洋	生涯学習課長	富田 満久
中央図書館長	河野 達弘	文化・スポーツ課長	森田 浩二
人権啓発課長 (事務局)	山本 利彦	学校給食センター所長	児玉 雅人
教育総務課総務係長	山口 真史		

6. 付議事件

報告第36号 専決処分した事件の承認について
(令和2年度教育費9月補正予算の要求について)

7. 会議概要

(1) 開会宣言 (午後4時00分)

◎教育長

それでは、只今から9月定例の教育委員会会議を開催致します。

冒頭挨拶に先立ちまして、1件皆様にご報告を申し上げます。この9月議会に、高山委員の任命議案が上程されておりました。今日、午前中議会がありまして、再任していただくことに議会から同意をいただきましたので、ご報告させていただきます。任期については、令和2年9月28日から令和6年9月27日までとなっております。

今年度は本当に新型コロナウイルスに振り回されてきた、そして今もまだ続いているという状況です。振り返ってみますと、たとえばICT関係でいえば、昨年今後の宇和島のICT教育導入に関して、どのように進めていくかということについての計画を立てるという作業をしていたところですけど、今年度に入って、5年かけてやろうとしていたことを一挙にやるような形になったり、ここから先はオフラインの形の授業だけでなく、オンラインの形とのハイブリッドでやっていくというような状況の変化もありました。

そして、最近では安倍元首相が退陣されて、新たな政権が始まって1週間ですか、早速デジタル庁を立ち上げるといった話もありましたし、行政改革担当大臣は、ハンコ文化をやめるとおっしゃっています。インタビューでのやり取りを見ていますと、単にハンコだけでなく、FAXや書類による手続をなくすということまでおっしゃっていました。実際どこまで、どんなスピード感でするのかはまだ分かりませんが、大きなトレンドで考えればそういう方向になっていくのかなと思います。そうした中で、これまで準備してきました方針ですとか、計画といったものについても、ニューノーマルと言いましょか、新しい常識や価値観を反映させた形で練り直していくといったことも必要になってくると考えております。

(2) 教育長報告

◎教育長

続いて、教育長報告に入っていきたいと思います。

資料1、8月の業務実績をご覧いただきたいのですが、ここでは27日にあった、日本青年会議所主催のグローバルユース国連大使が、宇和島南中等教育学校で、同級生それから先輩に対して行った講演を聞きに行ってきました、そして、大変感銘を受けたので、それがどういうものであったかということについてご紹介させていただきたいと思います。どうしてこの講演会を聞きに行くことになったのかと申しますと、経緯としては、8月19日に岡原市長のところに表敬訪問に来ていただき、グローバルユース国連大使に選ばれて、カンボジアに行っているいろんなことを学んできて帰ってきた、その報告をしてくれました。そして、市長と意見交換があったのですが、そこでのやり取りが本当に立派で、高校1年生ですけれども、もし自分が高校1年生のときに、市長の部屋に行って意見交換をしたとなったら、ただ緊張して何も言えない状況だったのではないかと想像します。このお配りしている新聞記事は、実に堂々としていて、市長からの問いに対して、その場でこういうことを学んできました、そして学んだことを皆に伝えたいと思いますということをおっしゃっていました。あまりにもその受け答えが素晴らしかったので、この方が講演するというお話を聞き、それはぜひ聞かせてほしいと訪問したのが8月27日です。そのときの様子が、宇和島南中等教育学校のホームページに、8月27日の記事で紹介されているのですが、少し記述を読み上げたいと思います。「今回は『JCI Japan グローバルユース国連大使事業』に参加している本校の4年生が、活動についての発表を行いました。SDGsの紹介に始まり、昨年訪れたカンボジアで感じた教育の重要性、SDGsを達成するための一人一人のソーシャルアクションの必要性など、研修の中で学んだことを、パワーポイントを使って4年生に報告しました。「知識が100あっても、アクションが0であればインパクトは0。だから今日は、家に帰ったら家族の方々にSDGsについて話してみたい。」という言葉で締めくくられたこの方の活動報告に、同世代の生徒たちは大いに刺激を受けたようでした。自ら学び、学んだことをシェアし、周りをより良く変えていこうと活動できる生徒が、どんどん増えています」ということでした。昨年11月に、日本財団が9カ国を対象に、18歳の意識調査をしているのですが、約80%と高い割合で「はい」と

答えている国がある中で、日本の18歳は圧倒的に少ないです。そういうことを比較して考えると、SDGsを自ら学び、学んだことをシェアし、周りをより良く変えていこうと活動したいとおっしゃっているというのは本当に希望だなと感じます。もし可能であれば、学んだことをシェアしたいと折角おっしゃってくださっているのです、そういった機会も作れたらと思います。とても素晴らしい取組、そして素晴らしい若者がいるということをお伝えして報告に代えたいと思います。

－ 委員からは特に意見なし。－

(3) 付議事件

◎教育長

報告第36号について、事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長

教育長。3ページをご覧ください。報告第36号、専決処分した事件の承認についてでございます。内容は、令和2年度教育費に係る9月補正予算の要求についてでございます。先ほども教育長が言われたと思うのですが、本日議会で議決を受けましたので確定となります。

4ページをご覧ください。教育総務課分でございます。まず国庫支出金で、小学校教育振興費補助金1,475万円と中学校教育振興費補助金350万円、合わせて1,825万円ですが、同一の案件ですのでご説明は一緒にさせていただいたと思います。こちらの補助金に関しては、本年の6月に学校災害に伴う感染症対策、学習保障に係る支援として追加された補助金で、当初予算と6月の補正で、オンライン教材、授業支援ソフト、教師用のタブレット、これにかかる経費が3,500万円ほどあるのですが、そちらの方に補助金が充当できるということで交付決定をいただきましたので、数字を上げさせていただいたという経緯となっております。

続いて県支出金の、新ふるさとづくり総合支援事業費補助金でございます。こちらに関しては対象の経費が、歳出の教育諸事業の国際交流事業の補助金、こちらの1/2の補助金でございます。元々は、7月末から4日間、南予文化会館にて外国人高校生による日本語スピーチコンテストを開催予定としておりましたが、新型コロナウイルスの影響によりまして来年度に延期ということで、今回一連の新型コロナウイルス関係で中止、延期になった経費はすべて9月補正で減額するという話でしたので、今回273万5千円を減額させていただいた次第でございます。

続きまして歳出の小学校ICT環境整備事業、こちらに関しましては、PC教室に置いておりますパソコンのウイルス対策用ソフトの更新経費が必要でございましたので、合計214万2千円を計上しております。

次に、小学校保健事業の新型コロナウイルス対策と、一番下の中学校保健事業の新型コロナウイルス対策、これは同様なのですが、1,200万円と900万円、合わせまして2,100万円でございます。こちらに関しましては、5月末から市内の小中学校のバス通学の児童生徒さんの密回避のためにバスを走らせているところでございます。先般9月末までの経費として計上しておりましたが、今の現状を踏まえまして、3月末までの予算計上をしております。その経費を小学校で1,200万円、中学校で900万円を計上しております。

最後になりますが、中学校 ICT 環境整備事業 73 万 8 千円でございます。こちらに関してましてはデジタル教科書の、既に導入しております社会、理科、英語の 3 科目について、来年の 3 月までの 6 ヶ月分に関しまして延長の更新をする経費でございます。

合計で 2,114 万 5 千円を、教育総務課分として計上しております。以上です。

○学校教育課長

続いて学校教育課分です。そこに教育指導事業として挙げておりますが、実はこの 2 つの事業が混在というか、両方合わせて挙げております。1 つは、「わたしたちの宇和島市」といって、教科書が改訂されるごとに宇和島市分の社会科の副読本をつくるという事業です。これで 4 年間使えます。これに、ここにあります 1 番上の報償費。協力謝礼金の内の 30 万円の内、20 万円を充てております。それと下から 2 番目。需要費。これが印刷製本費として上げられている分です。合わせて、この「わたしたちの宇和島市」をこの 1 年間で作成するという形で出した予算です。

それからもう 1 つは、「きさいや宇和島」という新居浜市との児童交流事業がありまして、既に宇和島市の方は、児童の代表が 8 月 20 日に新居浜市を訪れております。これに対応するものとして、今度新居浜市から招いて事業を行うというのが、その計画です。既に 11 月 21 日（土）に行うことが決定しております。内容はそこにある通りなんですけれども、これらに要する費用として、67 万円辺りを大体計画しておりました。これより少なめに済む予定ではあるんですけども、昨日市長・副市長と協議をさせて頂いて、大体まとまったところです。実際にそのような形で行えるように予算を組んでおります。金額については、若干動く予定です。以上です。

○生涯学習課長

続きまして生涯学習課分を説明致します。5 ページをお願いします。歳出の社会教育総務費から説明致します。結婚推進事業の 130 万円の減額につきましては、うわじま MI センターが委託を予定しておりました婚活イベントにつきまして、新型コロナウイルスの影響により、実施困難という結果に至りましたので、減額したものです。この事業は歳入に記載の、定住自立圏共生ビジョン関連事業としまして、宇和島圏域で行っておりましたので、中止に伴い、鬼北町・松野町・愛南町の分の負担金 30 万円を歳入から減額しております。

次に放課後子ども教室の 47 万 2 千円の増額につきましては、三間放課後子ども教室の会場として使用させて頂いております施設「もみの木」の使用料につきまして、新型コロナウイルスの影響で学校休業に伴う使用日の増加であったり、密を避けるために多くの部屋を使用したこと、それから換気しながらエアコンを使用したことなど光熱水費が大幅に増えたことから、施設を管理している宇和島市民共済会に対して、設備使用料を負担したものです。図書館費の 30 万円の減額につきましては、パフィオうわじま開館 1 周年の記念イベントとして、著名な作家を招いての講演会を予定しておりましたが、そちらも新型コロナウイルスの影響により中止したため減額したものです。

次に公民館整備費、住吉公民館改築事業は、宇和島港臨港道路「新樺崎 1 号線」整備に伴う住吉公民館の移転改築にかかる予算です。事業の概要につきましては、現在、樺崎にあります住吉公民館を住吉小学校内に移転改築するものです。場所は、体育館前の駐車場に鉄骨で 3 階建てで計

画をしております。3階建てにするのは、敷地が狭いことと、駐車場を確保するため一部ピロティ構造にすることによるものです。工事の計画としましては、まず今年度、校舎の県道側にあります学級園を運動場のプール前に移設します。次に来年度、学級園跡に駐車場を整備し、小学校とこども園用の駐車場を確保します。駐車場を確保した後に、再来年、令和4年度に公民館の本体工事に着手する予定です。今回補正予算としましては、新公民館の設計と旧公民館の解体を含む設計委託料2,600万円、それに伴う測量委託料220万円、地質調査委託料550万円、旧公民館の解体に伴うアスベスト調査委託料50万円、また、整備工事費240万円につきましては、駐車場整備に伴う学級園の移設工事でありまして、学校教育活動に支障をきたさないよう今年度のうちに移設しようとするものです。以上です。

○文化・スポーツ課長

文化・スポーツ課の分をご説明致します。歳出の方からご覧ください。

まず城山管理事業費としまして25万2,000円は、6月19日に「宇和島版 Cheer Up! 花火プロジェクト」と一緒に宇和島城のブルーライトアップを行いました。その時にかかった費用を計上しております。20万円の原材料費につきましては、城山で整備をする時の土代ということであっております。樺崎歴史資料館管理費につきましては、5月に予定しておりましたイベントにかかる費用の新型コロナウイルス感染拡大防止によりまして中止にしましたものを減額したものです。

文化振興事業費につきましても、新型コロナウイルスの影響で中止した事業を減額ということになっております。200万円の公演企画運営委託料費と申しますのは、文化祭のオープニング事業でやろうとしていた公演を中止したものでございます。芸術作品対話型鑑賞事業とキッズダンサー招致事業というのは、応募型のイベントで、ふるさと宇和島の応援事業を財源としているものでございます。これも来年度へ先送りということになっております。

畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館運営事業というのは、熊本県から作品を運搬し、企画展をする予定でございましたが、これも中止のため、100万円の委託料を減額しております。

文化財保護事業費です。2つとも旧毛利家庄屋に係る補助金でございますが、1つは所謂指定文化財管理補助金というもので、茅葺き屋根を守る補助金でございます。もう1つは、歳入の分の新ふるさとづくり総合支援事業費補助金100万円と関連するものですが、県の補助金を充てまして、宇和島市の66万6,000円追加しまして旧庄屋毛利家を守る会の方へイベント費として補助金を出すものです。

体育費の方に参ります。保健体育総務事業費、愛・野球博、県の事業ですが、このイベントが中止となった関係で50万円の負担金が要らなくなりました。

スポーツ振興事業費につきましては、全国巡回ラジオ体操が、宇和島でということで予定されていたのですが、それにかかる費用を新型コロナウイルス対策で中止になりましたので、減額しております。

続きまして、体育施設管理事業費、施設修繕料ですが、吉田にあります長谷の住民レクリエーション施設のフェンスを修繕するために30万円、備品購入費の器械器具購入は、それぞれの体育館等に使います電気を付けたり外したりするような高所作業車を買う予定で、備品購入費190万

円を上げております。

総合体育館の管理事業ですが、総合体育館の避難路の誘導灯を全てLEDに替えるということで、修繕の必要箇所が多く判明したこのタイミングで110万円の修繕料を上げております。スポーツ交流センター管理事業費も、委託料200万円と工事請負費4,400万円につきましては、スポーツクライミング施設の観客席の設置にかかる事業費でございます。

最後に災害復旧事業ですが、これも吉田の河内中の住民レクリエーション施設の擁壁とフェンスが災害で倒れていましたので、それを復旧するもので840万円計上しております。以上です。

○人権啓発課長

続いて、人権啓発課所管費について説明させていただきます。7ページをお開きください。

歳入からご説明致します。人権教育総合推進地域事業でお示ししておりますが、文部科学省から三間地域が指定を受けて、今年度から3ヶ年度にわたって学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組により、人権教育の一層の推進を図るものです。その経費が、国から県経由で委託金として支出され、歳入の44万4千円を増額補正するものです。

次に歳出について説明致します。歳出の項目は人権啓発費で、先程説明した歳入の内訳経費で人権教育総合推進地域事業の先進地視察研修に21万円、資料代などの消耗品費4万9,000円、人権問題現地研修のバス借上料18万5,000円、合わせて44万4千円を増額補正するものです。

○学教給食センター所長

続きまして、学校給食センターに関わる予算を説明します。

歳出の方です。学校給食費の学校給食センター費は、三間地区学校給食センター管理事業としまして、三間学校給食調理場の排水処理施設に関わる修繕料として120万円を計上しております。前回、9年前に取り替え修繕を行いまして、使用部品が劣化しましたので、再度修繕したいということで計上しております。

次に学校給食費の自校式学校給食管理費は、津島地区自校給食管理事業として、御槇学校給食調理場のエアコンを新たに設置するための工事費を49万8,000円計上しております。自校式給食調理場はエアコンがまだ未整備のため、労働環境が非常に悪化しております。特に御槇の給食調理場については、最優先でありますので、エアコンを設置するものであります。

◎教育長

事務局からの説明が終わりました。これに対してご質問等あればお願いしたいと思います。

◎木下委員

文化・スポーツ課のスポーツクライミング施設の件ですけれども、新聞報道でもありましたように産建教育委員会で否決をされておりましたが、予算として計上されているその経緯について、説明をして頂いたらと思います。

○教育部長

今程ご指摘ありましたとおり、産建教育委員会の中で、委員長は採決から外れますので、7名の中で賛成が3名、反対が4名ということで否決をされた経緯がございます。この経緯につきましては、今程ご指摘ありましたように、スポーツ交流センターに後付けで観客席を作りましよう

ということで、実は、これもご承知かとは思いますが、昨年の9月議会で、まずは設計の委託料を予算計上させて頂いた、そこで今予定しているところで観客席を造りますということで説明を差し上げて、設計の委託料をお認め頂いたところではあったんですが、そのお認め頂く際に、やはりその工事費がいたずらに高くなるように、また工事の手法等々についても議会にもしっかり報告をして、協議をしながら進めるようにということを当時の産建教育委員長からご指摘を受けて、そういう条件つきでお認めを頂いていたという経緯がございました。ところが、今回設計が7月の末に上がってきたものですから、これを受けて工事費を計上したところではあるんですけども、そういったことへの対応が十分にできていなかったまま、工事費を計上させて頂いたことによって、約束が違うじゃないかということ、また工事費そのものがかなり価格が高いじゃないかということ、そういうことで非常に厳しいご意見を多々頂いたところでもございました。

本日、予算そのものは議決を頂いたところではありますが、これは条件付の議決になっておりまして、設計の300万円を超えるお金を使って、設計をしているものでもありますから、当面は、今の設計に基づいた形で、もう少し経費の節減ができないのか、或いは、工夫することによってどうか議会のご理解を得られないのかというところを説明を重ねる、案を検討する時間をいただいたという認識を持っております。その結果として、一定の時間は必要だと思いますが、議会の方で、少なくとも過半数の同意、ご了解をいただくまでは、予算議決はいただいたけれども予算は使わない、専門的な言葉では予算凍結といいます、そういう処理をさせていただくことで、議会を通ったからといって、勝手に執行することはいたしませんという約束を議会とした上での議決という経緯でございます。従いまして、これから、およそ3ヶ月、4ヶ月ぐらいかけて、いろいろな角度から検討をし、また、議会からいただいた意見の吟味もし、そういったところでやりとりを重ねる中で、どうかご承認をいただくように、文化・スポーツ課を中心に努力して参るところでもございますが、その結果といたしまして、残念ながらお認めいただけないということになりましたら、今回、折角ご承認いただいた予算ではありますけれども、最終の3月議会のところで予算の減額をする形で、今回やろうとしている事業そのものをリセットをする、再度抜本的に見直しをして、やはりクライミングホールには観客席が必要だということになれば、今のやり方とは違うやり方で、またご提案をさせていただくということになります。そうなる際には、令和3年度の予算になっていくというふうには考えております。

利用者の方からすれば、早く作ってくれたらいいのというのは当然あると思います。そういうお気持ちに対して、お答えできなくなってしまっているのは非常に心苦しいところではあります、やはり対議会のところで、我々教育委員会としての対応がよろしくなかったということは、事実そのとおりであると思っておりますので、今後のクライミングホールの件に限らず、重要案件については、議会との連携を密に取って、こういったことが二度と起こらないように注意してまいりたいと考えているところでございます。私からは以上です。

◎木下委員

新型コロナウイルスのこともあって、なかなか教育委員会の方も忙しくて大変であったと思うのですが、説明も受けたのですが、やはり説明が十分にできていなかったという点が一番だと思

いますので、昨年からの観客席という話が出ていたので、しっかりと議員の方々に説明を今からしていただいて、また、その施設を利用される住民の方々に対しても説明をしていただいて、その住民の方々からの後押しもあれば、議員の方々も納得していただけるのではないかと思いますので、本当に教育委員会も人手不足でなかなか大変だと思いますけども、十分な説明をして、納得のいく予算を確保していただきたいと思っております。

◎教育長

ありがとうございます。努めて参りたいと思います。

他にございますか。よろしいでしょうか。

◎全委員

－ 特に質問、意見等なし。－

◎教育長

それでは、この報告の採決を採りたいと思います。報告どおり承認することについて賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

◎全委員

－ 挙手 －

◎教育長

ありがとうございました。挙手全員で本件は報告どおり承認いたします。

本日の予定の議事は全て終了致しました。

(4)その他

◎教育長

他にご意見等ございませんか。

○文化・スポーツ課長

伊達博物館で「山家清兵衛展」を予定しております。実は今年、没後 400 年ということで記念の年なのですが、春先から新型コロナウイルス関連の騒動で何もできなかった、行政としてできることは山家清兵衛展で検証するというようなことで今年はやっておりますので、開展式の方にもぜひ来ていただきたいと思っておりますし、10月10日から11月8日までの期間となっておりますので、よろしく願いいたします。

◎教育長

他ございますか。

○文化・スポーツ課長

それともう一つ、ラジオ体操ができなかった代わりに、実は YouTube で、かんぼ生命の方から撮影に来て、文化・スポーツ課の職員が、天守の前に上がってラジオ体操をしております。YouTube が見れる方は見ていただたらと思います。「ラジオ体操 宇和島」等で検索していただたら、職員が 4 人と、あとバーチャルの方が 2 人で、ラジオ体操第 1 をしておりますので、よろしく願いいたします。

◎教育長

他、事務局からありますか。

○教育部長

少しトピックとしてお伝えしたいことがあります。

まず1点は、これは学校教育課所管になりますが、修学旅行に各学校行っておりますが、順調に全校行って帰ってくるのが一番だと思っているのですが、まだ行ってない学校もある中で、やはり巷で言われているのが、キャンセル料の問題というのがございます。これにつきましては、教育委員会、我々といましては、基本的にそこで発生してしまったキャンセル料については、市長の強いお気持ち、ご意向もありまして、ご家庭の方に負担いただくのではなくて、市の方で負担をする方向で現在考えているところでございます。ただし、これに係る予算の計上等はまださせていただいておりません。なぜなら、いくら発生するかはとりあえず分からない、順調に行けばキャンセル料はごくわずかで済む、あつてはならない、残念なことです。また新型コロナウイルスが行き先で拡大して、行きたくても行けなかったなどの時にキャンセル料が多く発生してしまうケースもありますので、ここは一つタイミングを見ながら予算計上をさせていただく中でと考えていますが、方向性としては、発生したキャンセル料については全額負担させていただく方向で考えているというところをご理解ご認識いただけたらと思っております。

それからもう1点、成人式の話がございます。これはすでに、ホームページの方に載せているのでご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、基本的に例年どおり、1月2日の午後1時半から南予文化会館で、一堂に会する形で実施をする、これは、新型コロナウイルス対応のマニュアルに照らしてみても、およそ席数の半分というのが記述されておりましたが、すでについ先日ですが、大声を出さないイベントでなければ、席数そのまま100%以内でイベント実施するのは構わないというガイドラインが出ていることから、もちろん今後の新型コロナウイルスの展開でどうなるかも分かりませんが、今のところは、1月2日に成人式を実施するという方向で決めさせていただいているところでございます。ただ、当然新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりとやった上で、またご来賓の数を制限するとか、或いはその式次第の中で、少し詰めれるところは詰めていくとか、できうる努力はした上で、そういう意味では例年どおりとはいかないかもしれませんが、今のところそういったところを検討しているところをお伝えをしておきたいと思いません。

それからもう1点、先ほど伊達博物館からのご案内もありましたけれども、本日終了しました9月定例会の中でも、一般質問でかなり伊達博物館のことは質問を受けております。これについては少し経緯がありまして、そもそも建替委員会というものが、木村宗慎氏を委員長に、ご当主、また市長、副市長、教育長も入っている委員会なんですけれども、その中に、議会から、議長と担当委員会であります産建教育委員会の委員長の2名の方が委員としてご参加いただいております。建替委員会は過去7回開催をしたところなのですが、委員から他の議員への情報伝達が上手く行っていなかったというようなことがあったようで、委員である議長から、一度、ここまでの進捗状況を説明してくれないかということが、事務局であります文化・スポーツ課の方に依頼がありま

して、全員の議員を前に説明を差し上げました。それは、今ほど申し上げましたように、我々が積極的に説明をしに行っただけではなくて、委員である議長、委員長からの依頼に基づき、成り代わって我々が説明したという経緯ではあったのですが、その場で、「初めて聞いた」「こんな話聞いていない」そして、説明そのものについても含めて、「疑問だ」とのご意見をいただき、そのご意見等々を、議会の一般質問という形で受けたというのが経緯でございました。これにつきましては、答えられる範囲は一定答えるのですが、議長と委員長が委員会の現場にいるにも関わらず、委員ではない議員と我々が直接やり取りを始めてしまうと、完全にこの委員2名が形骸化してしまいますし、我々の方からこの委員の存在意義を消すようなことをする訳にも参りませんので、あくまでそこをフィルターとして介して、やり取りをして行こうということで統一しているところでなんです。そうした背景、経緯がありますもので、これから各議会ごとに、とはいえ一般質問の中で、いろいろなご意見、ご批判等々を頂戴することになっていくんだと思います。そういう意味では、逆にご心配をおかけすることもあると思いますが、そういった経緯があるんだなとご理解いただければと思います。その上で、スケジュールを簡単に申し上げますと、現在は基本計画の案が取りまとまったところでございます。これを最終確認をした上で、来月中旬ぐらいから、その案を基にパブリックコメントを求め、且つ市民説明会を全部で7回開催する予定です。そういった中で、広く市民の方々からのご意見を賜った上で、年内には、基本計画そのものを取りまとめていきたいと考えております。基本計画が取りまとまった後には、年明けになると思いますが、今度はそれを基に基本設計の発注に移っていきたいと考えているところでございます。伊達博物館に関しては、事業としても大きな事業でございますので、やはり市民の注目を浴びるところでもあります。我々としてもしっかり対応して参りたいと考えております。

私の方からは以上です。

◎教育長

他ありますか。質問等ありませんか。

◎木下委員

新成人の人数は分かりますか。

○生涯学習課長

住民基本台帳に登録されているところで、昨年の800人に対して、今年100人ほど少ない、700人程度であったと思います。それに対して、住民票を移している方が若干加わって、出席率は例年より低いだらうと推察して、500人前後の出席者だと思っております。

◎木下委員

南予文化会館は、何席あるのですか。

○生涯学習課長

全部で1,200席です。

○教育部長

およそ600人を切るようであれば、十分開催できると考えております。先ほど申し上げたように、1,000人でも今は開催できるようになっております。

◎木下委員

大学生とか、社会に出ている方も、都市部に行かれている方も、お正月の成人式を楽しみにしている方もいるので、実施してあげられたらと思います。本人はもとより、保護者も楽しみにされている方もいるので、新型コロナウイルス対策を万全にした上で、新成人にも節度ある態度で式に臨むようお願いして、ぜひ実施していただければと思います。

○教育部長

我々も、一生に一度のことなので、なんとか開催できたらと考えております。ただ、例えば前日になって、宇和島市で新型コロナウイルスの感染者が多数出してしまうと、たとえ前日でも中止することもありえると考えております。そこは、臨機応変に対応しなければならないと考えております。特に当日、当然体温は全員測っていきますので、そこで体温が 37.5℃あれば、出席をご遠慮いただくというケースもあると考えております。

いろいろかかった費用も含めて、申し訳ないことになる可能性はあるのですが、それはレアケースとして、極力開催したいと考えております。

◎教育長

他よろしいでしょうか。

－ 特に意見等なし。－

◎教育長

それでは次回の日程について。

－ 協議のうえ、10月定例教育委員会会議を10月23日に開催することを決定する。－

(5)閉会宣言（午後4時48分）

◎教育長

それでは以上をもちまして、9月定例教育委員会会議を閉会します。